

“Aim high spiritually and you will strike high.”

生井利幸

<A message from Toshiyuki Namai>

I'd like you to absolutely aim high spiritually 24 hours day after day at all times. It is obviously true that you will strike high quite reasonably for the sake of your self-realization, if you are enthusiastically all the time making your strenuous efforts to eventually achieve somewhere the ideal stage, what is called “the highly elevated spiritual stage.” I'd like you to surely remember that “human life is really transient” without any doubt in consideration of the immense distances of space. There is “no second” to waste at all every day every night. I'd like you to sapiently consider the value of time, especially the “value of one second” firmly for your sake.

[本文]

昔も今も、東洋・西洋を問わず、この人間社会には実に様々な見方・考え方を備えた人間が存在している。様々な人間が存在する中、その人間の様相について、“人間群” (the group of human beings classified)として大きく二つに分類すると以下の如きになる。

二つの“人間群”の中の一つは、(1)「物事を“ローカル目線”でしか見ることができない人間群」、そして、もう一つは、(2)「“地球規模の目線”で自分の立ち位置を認識し、『地球に存する一存在者』として物事をしっかりと見据えることができる人間群」の二つである。

本稿では、“**Aim high spiritually and you will strike high.**”についての解釈を主題とするが、これを「崇高な理念」(a high ideal)として解釈するならば以下の如きとなる。その意味は、

「“崇高な心のステージ”に到達・樹立することを念頭に入れ、毎日、努力を続けなさい。毎日、努力を続けていけば、やがては、自分が望む“崇高な心のステージ”に到達するであろう（自然の摂理(natural law)は、「努力の成果」について、すべての人間に対して平等に与えている）。」

と解することが可能である。本稿において“**Aim high and you will strike high.**”という一概念を哲学的に捉えたとき、この概念の中に、この地球上のすべての人間に関係のある、「文明・文化を超越した共通の知(transcendental wisdom)」が内在していると私は捉える。

本来、人間は、(1)「思索よりも“利便性”」、そして、(2)「手間隙よりも“容易さ”」を重んじる存在者である。人間の“心理構造”(the structure of the “human mentality”)に内在する“一現象”として、多数派の人々がそうしたステレオタイプな見方・考え方に依存しているという認識の下、今ここで「真に価値のあるものを得るための“実体的過程”(substantial process)」について究明すると、

- a 安易な利便性よりも「深い思索」
- b 簡単に手に入るものよりも「手間隙をかけて手にしたもの」
(タダ乗りして手にしたものではなく「しっかりと汗と涙を流して手にしたもの」)

が極めて重要であるということが明白になってくる。“**Aim high spiritually and you will strike high.**”、・・・”aim high spiritually”に求められる行為、これは、所謂、“世俗的”(earthlyminded)な私利私欲の実現のために行われる行為を指すものではない。これは、世界中の人々に対する深い愛情を基盤として、まさに「人類愛の実現」(the realization of humanity and philanthropy)を追求するために行われるべき行為を指すものである。

この地球に存するすべての人間には、それぞれが、“一理性的存在者”として、この「崇高な理念」の実現を追求するプロセスにおいて、その追求を、「表面的追求」(superficial pursuit)から「実体的追求」(substantial pursuit)へと発展させていくことが求められている。すべての人間には、その実体的追求を具現する『特権』(a “privilege given” to embody the substantial pursuit)が賦与されていると、本稿において、わたくし生井利幸は明言する。

「国際的教養・品格を備えた英日バイリンガル」として変貌する、・・・確実に変貌を遂げるためには、“至上の喜び” (a sheer bliss)を持って、この「特権」(privilege given)を行使することが決め手となる。

<講師からの“特別”プレゼント>

受講生・弟子の皆さん、さらに深い学習を進めるために、言葉の概念として(1)“a privilege”と(2)“a privilege given”の相違について、自分なりに深い思索を試みてください。生井利幸のレッスンを相当期間にわたって受講している受講生・弟子であれば、静寂の中で自分の心を静め、心の中に蔓延する世俗的な雑念・邪念を取り除くことにより、やがて、何らかの「本質」(the essence)が見えてきます(言うまでもありませんが、インターネット等で検索しても、「答え」(an easy answer)はどこにも書いてありません。答えは、自分自身における「深い思索」を介して見い出してください)。